

## かながわスマートエネルギー計画推進事業費補助金交付要綱

### (趣旨)

第1条 この要綱は、「かながわスマートエネルギー計画」を推進するため、第3条に掲げる事業に要する経費に対し、神奈川県（以下「県」という。）が予算の範囲内で補助金を交付することについて、補助金の交付等に関する規則（昭和45年神奈川県規則第41号。以下「規則」という。）に規定するもののほか、必要な事項を定めるものとする。

### (定義)

第2条 この要綱において、次に掲げる用語の定義は、以下に定めるところによる。

#### (1) 共同住宅

2以上の世帯が居住する空間が同一の建物にある構造の住宅をいい、事務所や店舗などとの併用住宅を含む。

#### (2) 管理組合

建物の区分所有等に関する法律（昭和37年法律第69号）第3条に規定する区分所有者の団体若しくは第65条に規定する団地建物所有者の団体又は第47条第1項（第66条において準用する場合を含む。）に規定する法人であって、代表の方法、総会の運営、財産の管理その他団体として主要な点が確定し規約が制定されているものをいう。

#### (3) リース

契約の名称にかかわらず、利用者が希望する設備（未使用品に限る。）を事業者が代わりに購入して利用者に使用させ、その代金を設備の販売会社に支払い、利用者からは購入代金（元本）に金利等の諸経費を加えたものを設備使用の対価（対価の名称にかかわらず、以下「リース料」という。）として回収するものであって、契約期間中の中途解約が原則禁止されているものをいう。

### (補助事業)

第3条 補助の対象とする事業（以下「補助事業」という。）は、次のとおりとし、その範囲及び補助金の交付を受けることができる者（以下「補助事業者」という。）は別表1から別表11に定める。

- (1) 神奈川県自家消費型再生可能エネルギー導入費補助金
- (2) 神奈川県共同住宅用自家消費型太陽光発電等導入費補助金
- (3) 神奈川県ガスコージェネレーション導入費補助金
- (4) 神奈川県事業用EV導入費補助金
- (5) 神奈川県V2H充給電設備導入費補助金
- (6) 神奈川県EV急速充電設備整備費補助金
- (7) 神奈川県EV普通充電設備整備費補助金
- (8) 神奈川県燃料電池自動車等導入費補助金
- (9) 神奈川県水素ステーション整備費補助金
- (10) 神奈川県ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス導入費補助金
- (11) 神奈川県既存住宅省エネ改修事業費補助金

2 補助事業者は、次の各号に掲げる全ての要件を満たす者とする。

- (1) 過去2年以内に銀行取引停止処分を受けていないこと。
- (2) 過去6か月以内に不渡手形又は不渡小切手を出していないこと。
- (3) 次の申立てがなされていないこと。

- ア 破産法（平成16年法律第75号）第18条又は第19条に基づく破産手続開始の申立て
  - イ 会社更生法（平成14年法律第154号）第17条に基づく更生手続開始の申立て
  - ウ 民事再生法（平成11年法律第225号）第21条に基づく再生手続開始の申立て
- (4) 債務不履行により、所有する資産に対し、仮差押命令、差押命令、保全差押又は競売開始決定がなされていないこと。
- (5) 補助事業を円滑に遂行できる安定的かつ健全な財政能力を有すること（債務超過の状況にないこと。）。
- (6) 県税その他の租税を滞納していないこと。
- (7) 神奈川県が措置する指名停止期間中の者でないこと。
- (8) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当する者でないこと。
- (9) 次の補助金の交付を受けようとする者にあつては、県の同一会計年度内に、同一の設置場所において、これらの補助金のいずれの交付申請もしていないこと。
- ア 第1項第1号の補助金
  - イ 第1項第2号の補助金
  - ウ 第1項第3号の補助金
  - エ 第1項第9号の補助金
  - オ 第1項第10号の補助金
  - カ 第1項第11号の補助金
  - キ 神奈川県太陽光発電初期費用ゼロ促進事業費補助金交付要綱に基づく補助金

#### （補助対象経費）

第4条 補助の対象となる経費（以下「補助対象経費」という。）は、別表1から別表11に定めるものとする。

2 前項の経費の算出に当たっては、次の金額を控除するものとする。

- (1) 国の補助金を受ける場合は、当該補助金のうち、補助対象経費に係る補助額。ただし、前条第1項第4号、第5号、第7号及び第9号の補助事業は除く。
- (2) 消費税及び地方消費税相当額

#### （補助額の算出方法等）

第5条 補助額は、別表1から別表11に定める方法で算出するものとする。

2 前項の規定により算出した補助額に千円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。

#### （申請時の提出書類等）

第6条 補助事業者が、補助金の交付申請をする場合は、別表1から別表11に掲げる書類を知事が別に定める期日までに提出しなければならない。

#### （交付の決定）

第7条 知事は、前条の規定による申請書の提出があつた場合において、その内容を審査した上で、別表1から別表11に定める様式により通知するものとする。

#### （申請の取下げのできる期間）

第8条 規則第7条第1項の規定により申請の取下げのできる期間は、交付の決定の通知を受理した日から起算して10日を経過した日までとする。

(補助事業の実施)

第9条 補助事業者は、第7条の規定による交付決定の後に、補助事業に着手しなければならない。補助事業の着手は、別表1から別表11に定めるとおりとする。

2 補助事業は補助事業を実施した年度の3月末日までに完了しなければならない。なお、補助事業完了の日は、別表1から別表11に定める期日とする。

(交付の条件)

第10条 規則第5条の規定による条件は、次のとおりとする。

- (1) 補助事業の内容の変更をしようとする場合は、速やかに知事の承認を受けなければならない。ただし、補助額（第3条第1項第1号及び第2号の補助事業にあつては設備の種類ごとの補助額）に影響を及ぼすことがないものについてはこの限りではない。
- (2) 補助事業を中止し、又は廃止しようとする場合は、速やかに知事の承認を受けなければならない。
- (3) 補助事業が事業完了予定日までに完了する見込みのない場合若しくは完了しない場合又は補助事業の遂行が困難になった場合は、速やかに知事に報告し、その指示を受けなければならない。
- (4) 補助事業により取得し、又は効用の増加した財産は、補助事業の完了後においても善良な管理者の注意をもって適正に管理するとともに、補助金の交付の目的に従ってその効率的な運用を図らなければならない。

(変更の申請)

第11条 前条第1号の規定により知事の承認を受けようとする場合は、別表1から別表11に定める様式を知事に提出しなければならない。

2 知事は、前項の規定による書類の提出があつた場合において、その内容を審査した上で、別表1から別表11に定める様式により通知するものとする。ただし、変更が適当であると認めた場合でも、第7条の規定により通知した交付決定額を増額することはできないものとする。

3 前条第2号の規定により知事の承認を受けようとする場合は、別表1から別表11に定める様式を知事に提出しなければならない。

4 知事は、前項の規定による申請書の提出があつた場合において、別表1から別表11に定める様式により通知するものとする。

(状況報告及び調査)

第12条 規則第10条の規定による状況報告は、別表1から別表11に定める様式により、補助事業を実施する年度の3月末日までに行わなければならない。ただし、当該期日が神奈川県の日を定める条例（平成元年神奈川県条例第12号）第1条第1項の規定による県の休日（以下「県の休日」という。）に当たるときは、その休日の前日をもってその期限とみなす。また、同期日までに第15条に規定する実績報告を行った場合は、この限りではない。

2 前項の規定にかかわらず、知事は、必要に応じて補助事業者から補助事業の遂行の状況の報告を求め、又は調査することができる。

(決定の取消し)

第13条 知事は、補助事業者が次の各号のいずれかに該当するときは、補助金の交付の決定の全部又は一部を取り消すことができる。

- (1) 偽りその他不正の手段により補助金の交付を受けたとき。

- (2) 補助金を他の用途に使用したとき。
- (3) 補助金の交付の決定の内容若しくはこれに付した条件又は法令若しくはこれに基づく知事の指示若しくは命令に違反したとき。
- (4) 補助事業の実施に関して不正、怠慢その他不適当な行為を行ったとき。
- (5) 第3条第1項第2号の補助事業については、第6条に基づく申請を建築主が行った場合で、第15条に基づく実績報告時までに管理組合が設立されなかった場合

#### (補助金の返還)

第14条 補助事業者は、前条の規定による処分に関し、補助金の返還を命ぜられたときは、その命令に係る補助金の受領の日から納付の日までの日数に応じ、当該補助金の額（その一部を納付した場合におけるその後の期間については、既納額を控除した額）につき年10.95パーセントの割合で計算した加算金を県に納付しなければならない。

- 2 補助事業者は、補助金の返還を命ぜられ、これを納期日までに納付しなかったときは、納期日の翌日から納付の日までの日数に応じ、その未納付額（その一部を納付した場合におけるその後の期間については、既納額を控除した額）につき年10.95パーセントの割合で計算した延滞金を県に納付しなければならない。

#### (実績報告)

第15条 規則第12条の規定による実績報告は、別表1から別表11に掲げる書類により、補助事業完了の日から2か月以内又は補助事業を実施した年度の翌年度の4月末日のいずれか早い期日までに行わなければならない。ただし、当該期日が県の休日に当たるときは、その休日の前日をもってその期限とみなす。

- 2 前項に規定する実績報告は、やむを得ない理由によりその提出が遅延する場合には、あらかじめ知事の承認を受けなければならない。
- 3 知事は実績報告書の内容審査の結果、必要と認められるときは補助事業者に対して補助事業に関し報告を求め、補助事業者の事務所等に立ち入り、帳簿書類その他物件を調査し、又は関係者に質問をすることができる。
- 4 補助事業者は、前項の規定による報告の聴取、事業所等への立ち入り、物件の調査又は関係者への質問を受けたときは、これに応じなければならない。

#### (補助金の額の確定及び支払)

第16条 規則第13条の規定により交付すべき補助金の額を確定したときは、第7条又は第11条の規定により通知した交付決定額と当該確定額が相違する場合に限り、別表1から別表11に定める様式により補助事業者に対し通知するものとする。ただし、第7条又は第11条の規定により通知した交付決定額を増額することはできないものとする。

- 2 この補助金は、交付すべき補助金の額を確定した後に精算交付するものとする。

#### (財産の処分の制限)

第17条 規則第17条ただし書きの規定により知事が定める期間並びに同条第2号及び第3号の規定により、知事が定める財産の種類は、別表1から別表11に定めるとおりとする。

- 2 前項の処分制限期間内において、補助事業により取得した財産を処分しようとするとき又は補助事業をリース、割賦若しくは第3条第1項第1号の補助事業における電力販売により実施する場合で、補助事業者が処分制限期間又はリース、割賦若しくは電力販売契約の期間内に補助対象財産を使用者から引き上げようとするときは（以下取得した財産の処分及び補助対象財

産の引き上げを「処分等」という。) 補助事業者は、あらかじめ別表1から別表11に定める様式により処分等の承認について知事に申請し、その承認を受けなければならない。

- 3 知事は、前項の規定による書類の提出があった場合において、その内容を審査した上で、別表1から別表11に定める様式により通知するものとする。
- 4 知事は、前項の規定により財産処分等を承認するときに、必要であると認める場合には、補助金の全部又は一部に相当する金額の納付を請求するものとする。
- 5 補助事業者は、前項の規定による補助金の全部又は一部に相当する金額の請求を受けたときは、これを県に納付しなければならない。

#### (書類の整備等)

第18条 補助事業者は、補助事業に係る収入及び支出を明らかにした帳簿を備え、かつ、当該収入及び支出についての証拠書類を整備保管しておかななければならない。

- 2 前項に規定する帳簿及び証拠書類(以下「証拠書類等」という。)は、当該補助事業の完了の日の属する県の会計年度の翌年度から10年間又は第17条に定める処分制限期間のいずれか長い期間が経過するまで保存しなければならない。
- 3 補助事業者が法人又は管理組合である場合で、前項に規定する証拠書類等の保存期間が満了しない間に当該団体が解散する場合は、その権利義務を承継する者(権利義務を承継する者がいない場合は知事)に当該証拠書類等を引き継がなければならない。

#### (届出事項)

第19条 補助事業者は、次の各号のいずれかに該当するときは、速やかに文書をもってその旨を知事に届け出なければならない。

- (1) 個人にあつては、住所又は氏名を変更したとき。
- (2) 法人又は管理組合にあつては、所在地、名称又は代表者を変更したとき。

#### (暴力団の排除)

第20条 神奈川県暴力団排除条例(平成22年神奈川県条例第75号)第10条の規定に基づき、次の各号のいずれかに該当する者が補助事業者に含まれる場合には、補助金交付の対象としない。

- (1) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号。以下この項において「法」という。)第2条第2号に規定する暴力団
  - (2) 法第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。)
  - (3) 法人又は管理組合にあつては、代表者又は役員のうち暴力団員に該当する者があるもの。
- 2 知事は、補助事業者が補助金の申請を行ったとき又は補助金の交付決定を受けた以降に、補助事業者が前項各号のいずれかに該当するか否かを神奈川県警察本部長に対して確認を行うことができる。補助事業者は、知事が神奈川県警察本部長に対して当該確認を行うことについて、あらかじめ当該個人情報の本人の同意を得るものとする。
  - 3 知事は、補助金の交付決定を受けた補助事業者が、第1項に該当すると判明したときは、交付決定の全部又は一部を取り消すことができる。
  - 4 前項の規定による取消しをした場合は、第14条を準用する。

#### (アンケート調査等への協力)

第21条 補助事業者は、県が補助事業の効果を把握するため、補助事業終了後に行うアンケート調査等並びに別表1、別表3、別表4及び別表8に定める県への協力事項に協力するものとする。

2 知事は、前項の規定により補助事業者から報告された内容及び補助事業の結果について、インターネットの利用その他の方法により公表することができる。

(その他)

第22条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の実施に関し必要な事項は、知事が別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、令和2年4月17日から施行する。
- 2 前項の施行日以降、以下の要綱は廃止するものとする。
  - (1) 神奈川県自家消費型太陽光発電等導入費補助金交付要綱
  - (2) 神奈川県共同住宅用自家消費型太陽光発電等導入費補助金交付要綱
  - (3) 神奈川県蓄電システム導入費補助金交付要綱
  - (4) 神奈川県EV活用自家消費システム導入費補助金交付要綱
  - (5) 神奈川県分散型エネルギーシステム導入費補助金交付要綱
  - (6) 神奈川県燃料電池自動車等導入費補助金交付要綱
  - (7) 神奈川県水素ステーション整備費補助金交付要綱
  - (8) 神奈川県水素供給設備導入事業費補助金交付要綱
  - (9) 神奈川県ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス導入費補助金交付要綱
  - (10) 神奈川県既存住宅省エネ改修費補助金交付要綱
  - (11) 神奈川県ネット・ゼロ・エネルギー・ビル導入費補助金交付要綱
  - (12) 地域電力供給システム整備事業費補助金交付要綱

附 則

この要綱は、令和2年6月26日から施行する。

附 則

この要綱は、令和2年12月9日から施行する。

附 則

この要綱は、令和3年4月22日から施行する。

附 則

- 1 この要綱は、令和4年4月26日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、令和2年度以前に交付決定した神奈川県蓄電システム導入費補助金及び令和3年度以前に交付決定した神奈川県EV活用自家消費システム導入費補助金については、なお従前のおりとする。

附 則

- 1 この要綱は、令和5年4月26日から施行する。
- 2 施行日において既に交付決定した補助金については、前項の規定による改正前のかながわスマートエネルギー計画推進事業費補助金交付要綱の規定は、なおその効力を有する。

別表6 第3条第1項第6号に規定する補助金（神奈川県EV急速充電設備整備費補助金）

<p>1 定義</p>	<p>別表6において、次に掲げる用語の定義は、以下に定めるところによる。</p> <p>(1) EV急速充電設備 電源から充電用の直流電力を作り出す電源装置及び電気自動車に搭載された電池への充電を制御する機能を共に有する、一基当たりの定格出力が10kW以上の設備であって、充電コネクタ、ケーブルその他の装備一式を備えたものをいう。</p> <p>(2) 経済産業省補助金 経済産業省が採択した執行団体が実施するEV充電インフラ設備導入に関する補助事業において交付される補助金をいう。</p>
<p>2 第3条の補助事業の範囲</p>	<p>(1) 県内の商業施設、宿泊施設、給油所、道の駅、事業所、工場、マンション等にEV急速充電設備を整備する事業（以下別表6において「第6号補助事業」という。）とする。</p> <p>(2) リースにあつては、リース事業者が(1)に規定する事業に対してリースするためにEV急速充電設備を新たに導入する事業とする。ただし、知事が別に定める要件を満たす場合に限る。</p> <p>(3) 補助対象とするEV急速充電設備は、次に掲げる全ての条件を満たすものとする。ただし、一般乗合旅客自動車運送事業者又は一般乗用旅客自動車運送事業者の事業所において第6号補助事業を実施する場合は、アからウの条件を満たせばよいものとする。</p> <p>ア 経済産業省補助金、その他の国の補助金の交付対象となるEV急速充電設備であること。</p> <p>イ 未使用品であること。（中古品又は新古品ではないこと。）</p> <p>ウ EV急速充電設備を設置する土地の使用権原を有していること。（借地の場合は、土地の使用許諾及びEV急速充電設備を設置することの許諾を取り、許諾を証する書類の提出が可能であること。）</p> <p>エ EV急速充電設備が公道に面した入り口から誰もが自由に出入りできる場所にあること。</p> <p>オ EV急速充電設備を利用する者を限定せず、他のサービスの利用又は物品の購入を条件としていないこと。</p> <p>カ 充電場所を示す案内板を当該施設の入り口、幹線道路に面した場所等、人目につきやすい場所に設置すること。</p> <p>キ EV急速充電設備の利用を会員制により行う場合、非会員であっても何らかの方法により利用可能とすること。</p>
<p>3 第3条の補助事業者</p>	<p>第6号補助事業を実施し、EV急速充電設備を所有する個人事業者、法人（国及び法人税法（昭和40年法律第34号）第2条第5号に規定する公共法人を除く。以下別表6において同じ。）又は管理組合法人（第2条第2号における法人をいう。以下別表6において同じ。）とする。ただし、次のいずれかに該当する場合は、その条件に従うこ</p>

	<p>ととする。</p> <p>(1) EV急速充電設備をリースにより整備する場合は、EV急速充電設備の利用者（第2条第3号における利用者をいい、以下別表6において「使用者」という。）の同意を得てリース事業者と使用者が補助事業者になるものとし、リース事業者が補助金の申請及び報告を行い、補助金の交付を受けるものとする。</p> <p>(2) EV急速充電設備の整備に係る経費を複数の事業者で負担する場合は、事業者の全員の同意を得て全員が補助事業者になるものとし、補助事業者のうち、EV急速充電設備の所有者となる者のいずれか一者が補助金の申請及び報告を行い、補助金の交付を受けるものとする。</p> <p>(3) 共有している土地で第6号補助事業を実施する場合は、EV急速充電設備の整備について共有者の全員の同意を得るものとする。</p>											
<p>4 第4条の補助対象経費</p>	<p>第6号補助事業を実施するために必要な経費のうち、EV急速充電設備の整備に係る設備費及び設置工事費。ただし、自社製品の調達又は関係会社からの調達分（設置工事等を含む。）がある場合、利益等を排除した額を補助対象経費として決定することとする。</p>											
<p>5 第5条の補助額の算出方法</p>	<p>第6号補助事業に係る補助対象経費に3分の1を乗じた額又は次に定める補助上限額のうち、いずれか低い額とする。</p> <table border="1" data-bbox="531 1025 1291 1220"> <thead> <tr> <th>整備方法</th> <th>出力</th> <th>補助上限額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規（追加）</td> <td>10kW以上</td> <td>1,000千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">入替</td> <td>10kW以上50kW未満</td> <td>500千円</td> </tr> <tr> <td>50kW以上</td> <td>1,000千円</td> </tr> </tbody> </table>	整備方法	出力	補助上限額	新規（追加）	10kW以上	1,000千円	入替	10kW以上50kW未満	500千円	50kW以上	1,000千円
整備方法	出力	補助上限額										
新規（追加）	10kW以上	1,000千円										
入替	10kW以上50kW未満	500千円										
	50kW以上	1,000千円										
<p>6 第6条の交付申請に係る提出書類</p>	<p>(1) 神奈川県EV急速充電設備整備費補助金交付申請書（第1号様式）</p> <p>(2) 神奈川県EV急速充電設備整備費補助金事業計画書（第1号様式別紙1）</p> <p>(3) 第6号補助事業に係る見積書の写し又はこれに代わるもの</p> <p>(4) 前号の見積書の写し又はこれに代わるものに、EV急速充電設備の整備に係る経費の額が明記されていない場合は、EV急速充電設備の整備に係る経費の額を証する書類</p> <p>(5) EV急速充電設備の仕様が確認できるもの</p> <p>(6) 補助事業者が個人事業者の場合は、運転免許証、写真付き住民基本台帳カード、パスポート又はマイナンバーカード（表面）のいずれかの写し</p> <p>(7) 補助事業者が法人又は管理組合法人の場合は、当該法人若しくは管理組合法人に係る現在事項若しくは履歴事項証明書（発行から3か月以内のもの）又はこれに代わるもの及び役員等氏名一覧表（第1号様式別紙2）</p> <p>(8) 補助事業者が管理組合法人の場合は、EV急速充電設備の設置が管理組合法人の決定によることを明らかにする書類</p> <p>(9) 一般乗合旅客自動車運送事業者又は一般乗用旅客自動車運送事業</p>											

	<p>者の事業所に設置する場合は、道路運送法（昭和26年法律第183号）第4条第1項に基づく国土交通大臣の許可を受けたことを証する書類の写し又はこれに代わるもの</p> <p>(10) E V急速充電設備を設置する土地の登記事項証明書</p> <p>(11) 申請者とE V急速充電設備の設置場所の土地所有者が異なる場合は、土地の利用及びE V急速充電設備の設置に関する許諾書又はこれに代わるもの</p> <p>(12) 工事着工前の要部写真</p> <p>(13) 設計図面</p> <p>ア 設置場所見取図</p> <p>イ 電気系統図</p> <p>（設置工事費を申請しない場合は、アの図面）</p> <p>(14) リースにあつては、共同申請同意書（第1号様式別紙3）及びE V急速充電設備の使用者が個人事業者の場合は運転免許証、写真付き住民基本台帳カード、パスポート又はマイナンバーカード（表面）のいずれかの写し、法人若しくは管理組合法人の場合は当該法人に係る現在事項若しくは履歴事項証明書（発行日から3か月以内のもの）又はこれに代わるもの及び役員等氏名一覧表（第1号様式別紙2）</p> <p>(15) E V急速充電設備の整備に係る経費を複数の事業者で負担する場合は、共同負担事業に関する同意書（第1号様式別紙4）及び共同で負担する事業者が個人事業者の場合は運転免許証、写真付き住民基本台帳カード、パスポート又はマイナンバーカード（表面）のいずれかの写し、法人若しくは管理組合法人の場合は当該法人に係る現在事項若しくは履歴事項証明書（発行日から3か月以内のもの）又はこれに代わるもの及び役員等氏名一覧表（第1号様式別紙2）</p> <p>(16) 共有している土地で第7号補助事業を実施する場合は、共有者全員のE V急速充電設備の設置に関する同意書（第1号様式別紙5）</p> <p>(17) 自社又は資本関係にある会社から調達する場合は、利益等を排除した補助対象経費の算定根拠</p> <p>(18) その他知事が必要と認める書類</p>
<p>7 第7条の交付の決定等に係る様式</p>	<p>補助金の交付を決定したときは、神奈川県E V急速充電設備整備費補助金交付決定通知書（第2号様式）により、不交付を決定したときは、神奈川県E V急速充電設備整備費補助金不交付決定通知書（第3号様式）により通知する。</p>
<p>8 第9条第1項の補助事業の着手</p>	<p>整備するE V急速充電設備に係る設置工事の着工のあつた日とする。</p>
<p>9 第9条第2項の補助事業完了の日</p>	<p>整備したE V急速充電設備に係る次の各号に掲げる日のうち、最も遅い日とする。</p> <p>(1) 設置工事が完了した日</p> <p>(2) 引渡しのある日</p>

	(3) 代金の支払が完了した日
10 第11条第1項の変更の申請に係る様式	神奈川県E V急速充電設備整備費補助金変更承認申請書（第4号様式）。E V急速充電設備をリースにより整備する場合は、変更承認共同申請同意書（第4号様式別紙1）を、E V急速充電設備の整備に係る経費を複数の事業者で負担する場合は、共同負担事業に関する変更承認申請同意書（第4号様式別紙2）をそれぞれ添付する。
11 第11条第2項の変更の承認等に係る様式	変更が適当であると認めるときは、神奈川県E V急速充電設備整備費補助金変更承認通知書（第5号様式）により、適当であると認めなかったときは、神奈川県E V急速充電設備整備費補助金変更不承認通知書（第6号様式）により通知する。
12 第11条第3項の中止又は廃止の申請に係る様式	神奈川県E V急速充電設備整備費補助金中止・廃止承認申請書（第7号様式）。E V急速充電設備をリースにより整備する場合は、中止・廃止承認共同申請同意書（第7号様式別紙1）を、E V急速充電設備の整備に係る経費を複数の事業者で負担する場合は、共同負担事業に関する中止・廃止承認申請同意書（第7号様式別紙2）をそれぞれ添付する。
13 第11条第4項の中止又は廃止の承認等に係る様式	中止又は廃止が適当であると認めるときは、神奈川県E V急速充電設備整備費補助金中止・廃止承認及び交付決定取消通知書（第8号様式）により、中止又は廃止が適当であると認めなかったときは、神奈川県E V急速充電設備整備費補助金中止・廃止不承認通知書（第9号様式）により通知する。
14 第12条の状況報告に係る様式	神奈川県E V急速充電設備整備費補助金実施状況報告書（第10号様式）
15 第15条の実績報告に係る書類	<p>(1) 神奈川県E V急速充電設備整備費補助金実績報告書（第11号様式）</p> <p>(2) 神奈川県E V急速充電設備整備費補助金事業結果報告書（第11号様式別紙1）</p> <p>(3) 補助金振込先の口座名義人（フリガナ）、金融機関名、店名、預金の種類及び口座番号が記載されている部分の通帳等の写し（補助金振込先は、申請者名義の口座に限る。）</p> <p>(4) リースにあっては、設備のリースに係る契約書の写し</p> <p>(5) 発注書の写し</p> <p>(6) 請求書（内訳書含む。）の写し</p> <p>(7) 領収書の写し又は金融機関発行の振込証の写し</p> <p>(8) 設置完了証明書（第11号様式別紙2）</p> <p>(9) 完成後の要部写真（E V急速充電設備の銘板写真を含む。）</p> <p>(10) 完成後の設計図面  ア 設置場所見取図  イ 電気系統図  （設置工事費を申請していない場合は、アの図面）</p> <p>(11) E V急速充電設備のメーカーが発行する保証書又はメーカーが認</p>

	<p>めた第三者の発行する保証書（ただし、この場合、保証書のフォームはメーカーが定めたもので、第三者の発行をメーカーが管理できる場合に限る。）</p> <p>(12) 経済産業省補助金等の国の補助金を受ける場合は、国の補助金の交付決定通知書の写し又はこれに代わるもの</p> <p>(13) 補助額に影響を及ぼすことがない補助対象設備の仕様等を変更した場合は、神奈川県E V急速充電設備整備費補助金仕様変更報告書（第11号様式別紙3）及び変更に係る書類</p> <p>(14) その他知事が必要と認める書類</p>	
16 第16条の補助金の額の確定に係る様式	神奈川県E V急速充電設備整備費補助金交付額確定通知書（第12号様式）	
17 第17条第1項の知事が定める財産の種類及び期間	財産の種類	期間
	E V急速充電設備 ※リースの場合は、リース契約の期間が右記期間以上であることとする。	5年
18 第17条第2項の財産処分に係る様式	神奈川県E V急速充電設備整備費補助金財産処分承認申請書（第13号様式）	
19 第17条第3項の財産処分の承認等に係る様式	処分が適当であると認めるときは、神奈川県E V急速充電設備整備費補助金財産処分承認通知書（第14号様式）により、処分が適当であると認めなかったときは、神奈川県E V急速充電設備整備費補助金財産処分不承認通知書（第15号様式）により通知する。	

神奈川県EV急速充電設備整備費補助金交付申請書

年 月 日

神奈川県知事 殿

申請者 郵便番号

住 所

〔法人等の場合は所在地〕

氏 名

〔法人等の場合は名称  
及び代表者職・氏名〕

（個人事業者にあつては下記の生年月日・性別を記載）

生年月日 T・S・H 年 月 日生

性 別 男・女

神奈川県EV急速充電設備整備費補助金の交付を受けたいので、次のとおり、関係書類を添えて申請します。

なお、6の誓約事項について相違ないことを誓約するとともに、暴力団又は暴力団員でないことを確認するため、本様式及び役員等氏名一覧表（別表6 第1号様式別紙2）に記載した情報を神奈川県警察本部に照会することについて異議ありません。

また、補助事業で設置する設備の所在地等、公共の用に供するために必要な情報は、県がホームページ等により公表することについて同意します。

1 補助金交付申請額

神奈川県EV急速充電設備整備費補助金事業計画書（別表6 第1号様式別紙1）の3に記載の額

2 EV急速充電設備の整備状況（該当する□に「✓」を記載）

□新規（追加） □入替

3 補助事業の着手予定日と完了予定日

○ 着手予定日について、EV急速充電設備の設置工事の着工予定日を記載してください。

○ 完了予定日について、次の事項のうち、最も遅いものの予定日を記載してください。

- (1) 新たに整備するEV急速充電設備の設置工事
- (2) 新たに整備するEV急速充電設備の引渡し
- (3) 新たに整備するEV急速充電設備の代金の支払

着手予定日	完了予定日
年 月 日	年 月 日

#### 4 申請の担当者連絡先

TEL :			
電子メールアドレス :			
部署名・役職名		担当者名	

#### 5 整備する設備の販売・設置・施工予定事業者の連絡先※

※ 新規に整備する設備の販売・設置・施工予定事業者に確認することがあります。

(E V急速充電設備の販売)

事業者名 :			
TEL :		電子メールアドレス :	
部署名・役職名		担当者名	

(E V急速充電設備の設置工事) ※E V急速充電設備の販売と同じ事業者の場合は、記載は不要です。

事業者名 :			
TEL :		電子メールアドレス :	
部署名・役職名		担当者名	

#### 6 誓約事項

次の事項について相違ないことを誓約します。

- (1) 過去2年以内に銀行取引停止処分を受けていないこと。
- (2) 過去6か月以内に不渡手形又は不渡小切手を出していないこと。
- (3) 次の申立てがなされていないこと。
  - ア 破産法（平成16年法律第75号）第18条又は第19条に基づく破産手続開始の申立て
  - イ 会社更生法（平成14年法律第154号）第17条に基づく更生手続開始の申立て
  - ウ 民事再生法（平成11年法律第225号）第21条に基づく再生手続開始の申立て
- (4) 債務不履行により、所有する資産に対し、仮差押命令、差押命令、保全差押又は競売開始決定がなされていないこと。
- (5) 補助事業を円滑に遂行できる安定的かつ健全な財政能力を有すること（債務超過の状況にないこと。）。
- (6) 県税その他の租税を滞納していないこと。
- (7) 神奈川県が措置する指名停止期間中の者でないこと。
- (8) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当する者でないこと。
- (9) 土地の利用に関する法令、土地利用の権原など、法令を遵守すること。



#### 4 リースで整備する場合

E V急速充電設備の使用者への還元 方法 (該当する□に「✓」を記載)	<input type="checkbox"/> リース料の算定に当たり元本相当額から補助金相当額分の減額 <input type="checkbox"/> 補助金相当額を現金で支払 <input type="checkbox"/> その他 ( )
---	--

## 役員等氏名一覧表

年 月 日現在

役職名	氏名	氏名のカナ	生年月日 (大正T, 昭和S, 平成H)	性別 (男・女)	住所
代表者			T S H . .		
			T S H . .		
			T S H . .		
			T S H . .		
			T S H . .		
			T S H . .		
			T S H . .		
			T S H . .		
			T S H . .		
			T S H . .		
			T S H . .		

記載した全ての者は、代表者又は役員のうち暴力団員に該当する者がいないことを確認するため、本様式に記載された情報を神奈川県警察本部に照会することについて、同意しております。

(法人名称)

(代表者の職・氏名)

## 共同申請同意書

年 月 日

神奈川県知事 殿

次の同意事項の内容に同意し、申請内容に間違いがないことを確認しています。

共同申請者	法人名（名称及び代表者の職・氏名）又は氏名
リース事業者	
リースで整備する設備の使用者	住 所 （法人等の場合は所在地） フリガナ 氏 名 （法人等の場合は名称及び代表者の職・氏名） ※個人事業者にあつては下記の生年月日・性別を記載 生年月日 T・S・H 年 月 日生 性別 男 ・ 女

## (同意事項)

- ・リース事業者及びリースで整備する設備の使用者（以下「使用者」という。）が暴力団又は暴力団員でないことを確認するため、本様式に記載した情報を県が神奈川県警察本部に照会すること。
- ・審査結果について、県がリース事業者宛てに通知すること。
- ・補助金はリース事業者に交付されること。
- ・リース事業者は、次のいずれかの方法等により、使用者に補助金相当額を還元すること。
  - (1) 使用者から領収するリース料の算定に当たり元本相当額から補助金相当額分を減額
  - (2) 補助金相当額を現金で支払
- ・リース事業者及び使用者が、補助金交付後取得財産を処分しようとするときは、リース事業者はあらかじめ知事の承認を得る必要があること。また、知事の承認を得て処分した場合、補助金の全部又は一部に相当する金額の納付を命ぜられる場合があること。
- ・補助金交付後、補助事業で整備する設備の利用等に関するアンケート調査を県が実施する場合、リース事業者及び使用者は、共に調査に協力すること。
- ・補助事業で整備する設備の所在地等、公共の用に供するために必要な情報は、県がホームページ等により公表すること。

## 共同負担事業に関する同意書

年 月 日

神奈川県知事 殿

次の同意事項の内容に同意し、申請内容に間違いがないことを確認しています。

共同負担者	法人名（名称及び代表者の職・氏名）又は氏名
申請者（設備費を負担する事業者）	
設備の設置工事費を負担する事業者	住 所 （法人等の場合は所在地） フリガナ 氏 名 （法人等の場合は名称及び代表者の職・氏名） ※個人事業者にあつては下記の生年月日・性別を記載 生年月日 T・S・H 年 月 日生 性別 男 ・ 女

※ 他に共同負担者がいる場合は、「設備の設置工事費を負担する事業者」欄を追加して記載してください。その際、申請者以外に設備費を負担する事業者がいる場合は、追加した欄の「設備の設置工事費を負担する事業者」を「設備費を負担する事業者」に書き換えて記載してください。

## (同意事項)

- 共同負担者が暴力団又は暴力団員でないことを確認するため、本様式に記載した情報を県が神奈川県警察本部に照会すること。
- 審査結果について、申請者宛てに通知すること。
- 補助金は申請者が代表して受け取ること。
- 補助金交付後取得財産を処分しようとするときは、申請者が代表してあらかじめ知事の承認を得る必要があること。また、知事の承認を得て処分した場合、補助金の全部又は一部に相当する金額の納付を命ぜられる場合があること。
- 補助金交付後、補助事業で整備する設備の利用等に関するアンケート調査を県が実施する場合、共同負担者は、共に調査に協力すること。
- 補助事業で整備する設備の所在地等、公共の用に供するために必要な情報は、県がホームページ等により公表すること。

E V急速充電設備の設置に関する同意書

年 月 日

土地共有者	住 所 (法人等の場合は所在地) フリガナ 氏 名 (法人等の場合は名称及び代表者の職・氏名) ※個人事業者にあつては下記の生年月日・性別を記載 生年月日 T・S・H 年 月 日生 性別 男 ・ 女
-------	--

※ 土地共有者が複数いる場合は、申請者以外の土地共有者全員の同意書を作成してください。

私は第6号補助事業の内容を理解し、次のとおり共有する土地にE V急速充電設備を設置することに同意します。

なお、その期間は設置後5年以上とします。

申請者 (法人等の場合は名称)	
土地の所在地	

神奈川県E V急速充電設備整備費補助金交付決定通知書

第 号  
年 月 日

様

神奈川県知事

(公 印 省 略)

年 月 日付けで申請のあった神奈川県E V急速充電設備整備費補助金の交付については、補助金の交付等に関する規則(昭和45年神奈川県規則第41号。以下「規則」という。)第4条第1項の規定により次のとおり決定したので、規則第6条の規定により通知します。

1 補助金額 円

2 補助条件

- (1) この補助金の対象となる事業は、年 月 日付けで申請のあった神奈川県E V急速充電設備整備費補助金に係る事業とし、その内容及び補助事業の経費の配分は申請のとおりとします。また、補助事業を実施した年度の3月末日までに事業を完了しなければなりません。
- (2) 補助事業の内容及び補助事業の経費の配分を変更しようとする場合は、速やかに知事の承認を受けなければなりません。補助額に影響を及ぼすことがないものについてはこの限りではありません。また、交付決定後に補助事業の内容の変更に伴う補助金の額の増額はできません。
- (3) 補助事業を中止し、又は廃止しようとする場合は、速やかに知事の承認を受けなければなりません。
- (4) 補助事業が事業完了予定日までに完了する見込みのない場合若しくは完了しない場合又は補助事業の遂行が困難となった場合は、速やかに知事に報告し、その指示を受けなければなりません。
- (5) 補助事業により取得し、又は効用の増加した財産は、補助事業の完了後においても善良な管理者の注意をもって適正に管理するとともに、補助金の交付の目的に従ってその効率的な運用を図らなければなりません。
- (6) 次の場合、この補助金の交付の決定の全部又は一部を取り消すことがあります。また、取り消した部分に係る補助金を返還させ、補助金の受領の日から納付の日までの日数に応じ、当該補助金の額(その一部を納付した場合におけるその後の期間については、既納額を控除した額)につき年10.95パーセントの割合で計算した加算金を徴収します。補助事業者は、補助金の返還を命ぜられ、これを納期日までに納付しなかったときは、納期日の翌日から納付の日までの日数に応じ、その未納付額(その一部を納付した場合におけるその後の期間については、既納額を控除した額)につき年10.95パーセントの割合で計算した延滞金を県に納付しなければなりません。

ア 偽りその他不正の手段により補助金の交付を受けたとき。

イ 補助金を他の用途に使用したときその他補助事業に関して補助金の交付の決定の内容若しくはこれに付した条件又は法令若しくはこれに基づく知事の指示若しくは命令に違反したとき。

ウ 補助事業の実施に関して不正、怠慢その他不適當な行為を行ったとき。

(7) この補助金は、実績報告書に基づき交付すべき補助金の額を確定した後に精算交付します。

(8) その他規則及びかながわスマートエネルギー計画推進事業費補助金交付要綱（以下「要綱」という。）の定めるところに従わなければなりません。

3 この補助金に係る実績報告は、補助事業完了の日から2か月以内又は補助事業を実施した年度の翌年度の4月末日のいずれか早い期日までに行わなければなりません。ただし、当該期日が神奈川県の日を定める条例（平成元年神奈川県条例第12号）第1条第1項の規定による県の休日（以下「県の休日」という。）に当たるときは、その休日の前日をもってその期限とみなします。

4 この補助金に係る状況報告は、補助事業を実施した年度の3月末日までに行わなければなりません。ただし、当該期日が県の休日に当たるときは、その休日の前日をもってその期限とみなします。また、同期日までに3の実績報告を行った場合は、行う必要はありません。

5 補助事業により設置した設備については、要綱別表6「17 第17条第1項の知事が定める財産の種類及び期間」に定める期間内に補助金の交付の目的に反して使用し、譲渡し、交換し、貸し付け、担保に供し、取り壊し、若しくは廃棄する場合（以下「処分」という。）又は補助事業をリースにより実施する場合において、リース事業者が処分制限期間、リース契約の期間内に使用者から引き上げようとするときは（以下処分及び使用者からの引き上げを「処分等」という。）、知事の承認が必要になります。また、知事の承認を得て処分等した場合、補助金の全部又は一部に相当する金額の納付を命ずることがあります。

6 補助事業に係る収入及び支出を明らかにした帳簿を備え、かつ、当該収入及び支出についての証拠書類を整備保管しておかなければなりません。また、帳簿及び証拠書類は、当該補助事業の完了の日の属する県の会計年度の翌年度から10年間保存しなければなりません。また、保存期間が満了しない間に法人を解散させる場合は、その権利義務を承継する者（権利義務を承継する者がいない場合は知事）に帳簿及び証拠書類を引き継がなければなりません。

7 次の場合、速やかに文書をもってその旨を知事に届け出なければなりません。

(1) 個人事業者にあつては、住所又は氏名を変更したとき。

(2) 法人又は管理組合法人にあつては、所在地、名称又は代表者を変更したとき。

8 この補助金の交付の決定の内容又は条件に不服のあるときは、この交付決定通知書を受領した日から起算して10日を経過した日までに申請の取下げをすることができます。

神奈川県EV急速充電設備整備費補助金不交付決定通知書

第 号  
年 月 日

様

神奈川県知事  
(公 印 省 略)

年 月 日付けで申請のあった神奈川県EV急速充電設備整備費補助金については、次の理由により交付しないこととしたので、かながわスマートエネルギー計画推進事業費補助金交付要綱第7条の規定により通知します。

(交付しない理由)

神奈川県EV急速充電設備整備費補助金変更承認申請書

年 月 日

神奈川県知事 殿

申請者 郵便番号  
住 所  
〔法人等の場合は所在地〕  
氏 名  
〔法人等の場合は名称  
及び代表者職・氏名〕

年 月 日付け 第 号で交付決定を受けた神奈川県EV急速充電設備整備費補助金に係る事業について、次のとおり変更したいので、関係書類を添えて承認を申請します。

1 変更の内容

変更前	変更後

交付申請額	変更前	変更後(千円未満切捨て)
	円	円

2 変更の理由

注 交付申請に添付した書類のうち、変更のあるものは、変更後の書類を添付すること。

変更承認共同申請同意書

年 月 日

神奈川県知事 殿

次の同意事項の内容に同意し、申請内容に間違いがないことを確認しています。

共同申請者	法人名（名称及び代表者の職・氏名）又は氏名
リース事業者	
リースで整備する設備の使用者	

（同意事項）

- ・ 審査結果について、県がリース事業者宛てに通知すること。

共同負担事業に関する変更承認申請同意書

年 月 日

神奈川県知事 殿

次の同意事項の内容に同意し、申請内容に間違いがないことを確認しています。

共同負担者	法人名（名称及び代表者の職・氏名）又は氏名
申請者（設備費を負担する事業者）	
設備の設置工事を負担する事業者	

※ 他に共同負担者がいる場合は、「設備費を負担する事業者」又は「設備の設置工事費を負担する事業者」欄を追加して記載してください。

（同意事項）

- ・ 審査結果について、県が申請者宛てに通知すること。

神奈川県EV急速充電設備整備費補助金変更承認通知書

第 号  
年 月 日

様

神奈川県知事

(公 印 省 略)

年 月 日付けで変更承認申請のあった神奈川県EV急速充電設備整備費補助金の交付については、補助金の交付等に関する規則(昭和45年神奈川県規則第41号。以下「規則」という。)第4条第1項の規定により次のとおり決定したので、規則第6条の規定により通知します。

1 補助金額

既 決 定 額	円
今回変更交付決定額	円

2 補助条件

- (1) この補助金変更の対象となる事業の内容及び補助事業の経費の配分は、年 月 日付けで申請のあった神奈川県EV急速充電設備整備費補助金変更承認申請書記載のとおりとします。
- (2) この変更交付決定に伴う補助金は、実績報告書に基づき交付すべき補助金の額を確定した後に精算交付します。
- (3) この変更交付決定の内容又は条件に不服のあるときは、この変更承認通知書を受理した日から起算して10日を経過した日までに申請の取下げをすることができます。
- (4) その他の交付条件については、年 月 日付け 第 号神奈川県EV急速充電設備整備費補助金交付決定通知書のとおりとします。

神奈川県EV急速充電設備整備費補助金変更不承認通知書

第 号  
年 月 日

様

神奈川県知事

(公 印 省 略)

年 月 日付けで変更承認申請のあった神奈川県EV急速充電設備整備費補助金に係る事業については、次の理由により承認しないこととしたので、かながわスマートエネルギー計画推進事業費補助金交付要綱第11条第2項の規定により通知します。

(承認しない理由)

神奈川県EV急速充電設備整備費補助金中止・廃止承認申請書

年 月 日

神奈川県知事 殿

申請者 郵便番号  
住 所  
〔法人等の場合は所在地〕  
氏 名  
〔法人等の場合は名称  
及び代表者職・氏名〕

年 月 日付け 第 号で交付決定を受けた神奈川県EV急速充電設備整備費補助金に係る事業について、次のとおり中止・廃止したいので、承認を受けたく、申請します。

1 中止・廃止の内容

2 中止・廃止の理由

中止・廃止承認共同申請同意書

年 月 日

神奈川県知事 殿

次の同意事項の内容に同意し、申請内容に間違いがないことを確認しています。

共同申請者	法人名（名称及び代表者の職・氏名）又は氏名
リース事業者	
リースで整備する設備の使用者	

（同意事項）

- ・ 審査結果について、県がリース事業者宛てに通知すること。

共同負担事業に関する中止・廃止承認申請同意書

年 月 日

神奈川県知事 殿

次の同意事項の内容に同意し、申請内容に間違いがないことを確認しています。

共同負担者	法人名（名称及び代表者の職・氏名）又は氏名
申請者（設備費を負担する事業者）	
設備の設置工事費を負担する事業者	

※ 他に共同負担者がいる場合は、「設備費を負担する事業者」又は「設備の設置工事費を負担する事業者」欄を追加して記載してください。

（同意事項）

- ・ 審査結果について、県が申請者宛てに通知すること。

神奈川県EV急速充電設備整備費補助金中止・廃止承認及び交付決定取消通知書

第 号  
年 月 日

様

神奈川県知事

(公 印 省 略)

年 月 日付けで中止・廃止承認申請のあった神奈川県EV急速充電設備整備費補助金に係る事業については、承認することとし、補助金の交付決定を取り消したので、かながわスマートエネルギー計画推進事業費補助金交付要綱第11条第4項の規定により通知します。

神奈川県EV急速充電設備整備費補助金中止・廃止不承認通知書

第 号  
年 月 日

様

神奈川県知事  
(公 印 省 略)

年 月 日付けで中止・廃止承認申請のあった神奈川県EV急速充電設備整備費補助金に係る事業については、次の理由により承認しないこととしたので、かながわスマートエネルギー計画推進事業費補助金交付要綱第11条第4項の規定により通知します。

(承認しない理由)

神奈川県E V急速充電設備整備費補助金実施状況報告書

年 月 日

神奈川県知事 殿

申請者 郵便番号

住 所

〔法人等の場合は所在地〕

氏 名

〔法人等の場合は名称  
及び代表者職・氏名〕

年 月 日付け 第 号で交付決定を受けた神奈川県E V急速充電設備整備費補助金に係る事業の 年 月 日現在における実施状況について、次のとおり報告します。

1 補助事業の執行状況

2 補助対象経費の執行状況

神奈川県E V急速充電設備整備費補助金実績報告書

年 月 日

神奈川県知事 殿

申請者 郵便番号  
 住 所  
 [法人等の場合は所在地]  
 氏 名  
 [法人等の場合は名称  
 及び代表者職・氏名]

年 月 日付け 第 号で交付決定を受けた神奈川県E V急速充電設備整備費補助金に係る事業の実績について、関係書類を添えて報告します。

補助事業の着手日と完了日

- 着手日について、E V急速充電設備の設置工事の着工日を記載してください。
- 完了日について、次の事項のうち、最も遅いものを記載し、（ ）内に該当する完了日の番号を記載してください。
  - (1) 新たに整備したE V急速充電設備の設置工事
  - (2) 新たに整備したE V急速充電設備の引渡し
  - (3) 新たに整備したE V急速充電設備の代金の支払

着手日	完了日	
年 月 日	年 月 日	( )

(補助金振込先) 通帳等に記載のとおり正確に記載してください。

口 座 名 義 人	(フリガナ)
金 融 機 関 名	
店 名	
預 金 の 種 類	普 通 ・ 当 座
口 座 番 号	

- 注1 申請者名義の口座に限ります。
- 注2 通帳等の写しを添付してください。

## 神奈川県 E V 急速充電設備整備費補助金事業結果報告書

## 1 補助事業の概要 (該当する□に「✓」を記載)

申請者氏名 (法人等の場合は名称)	
交付申請時からの土地の所有者の変更 (申請者が土地の所有者ではない場合に記載)	<input type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 変更あり (変更ありの場合は、仕様変更報告書(別表 6 第 11 号様式別紙 3)と、変更に関する書類を提出すること。)
交付申請時からの設備を設置する施設の変更	<input type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 変更あり (変更ありの場合は、仕様変更報告書(別表 6 第 11 号様式別紙 3)と、変更に関する書類を提出すること。)

## 2 設備の概要 (該当する□に「✓」を記載)

交付申請時からの E V 急速充電設備の変更	<input type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 変更あり (変更ありの場合は、仕様変更報告書(別表 6 第 11 号様式別紙 3)と、変更に関する書類を提出すること。)
------------------------	--

## 3 補助事業に係る経費の内訳 (該当する□に「✓」を記載)

交付申請時からの設備費又は設置工事費の金額変更の有無	<input type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 変更あり (変更ありの場合で、交付決定額が減額となる場合 →事前に変更承認申請書(別表 6 第 4 号様式)の提出が必要 変更ありの場合で、交付決定額が変わらない場合 →仕様変更報告書(別表 6 第 11 号様式別紙 3)と、変更に関する書類を提出すること。)
----------------------------	---

## 4 リースで整備した場合 (該当する□に「✓」を記載)

交付申請時からの E V 急速充電設備の使用者への還元方法の変更	<input type="checkbox"/> 変更なし
	<input type="checkbox"/> 変更あり (変更後の還元方法を以下に記載すること。)

設置完了証明書

年 月 日

次のとおり補助事業で設置するEV急速充電設備等の設置が完了したことを証明します。

設置・施工事業者名

(法人等の場合は名称及び代表者の職・氏名)

設置・施工事業者所在地

設置・施工担当者名

連絡先電話番号 ( ) -

補助金申請者等

申請者氏名 (法人等の場合は名称)	
補助事業で設備を設置した土地の所在地	

設備の設置・整備の情報

EV急速充電設備等の設置・施工期間	着工日	年 月 日
	完了日	年 月 日

神奈川県E V急速充電設備整備費補助金仕様変更報告書

年 月 日

申請者 氏 名  
〔法人等の場合は名称及び代表者の職・氏名〕

年 月 日付け 第 号で交付決定を受けた神奈川県E V急速充電設備整備費補助金に係る事業において、仕様等の変更がありましたので、次のとおり報告します。

1 交付申請額

円

2 変更の内容

変更前	変更後

3 変更の理由

神奈川県E V急速充電設備整備費補助金交付額確定通知書

第 号  
年 月 日

様

神奈川県知事

(公 印 省 略)

神奈川県E V急速充電設備整備費補助金交付決定通知 ( 年 月 日付け 第号) により交付決定した補助金については、 年 月 日付けで提出された神奈川県E V急速充電設備整備費補助金実績報告書に基づき、交付額を 円に確定したので、かながわスマートエネルギー計画推進事業費補助金交付要綱第16条の規定により通知します。

神奈川県E V急速充電設備整備費補助金財産処分承認申請書

年 月 日

神奈川県知事 殿

申請者 郵便番号  
住所  
〔法人等の場合は所在地〕  
氏名  
〔法人等の場合は名称  
及び代表者職・氏名〕

年 月 日付け 第 号で交付決定を受けた神奈川県E V急速充電設備整備費補助金に係る事業により取得した財産について、次のとおり処分したいので、承認を受けたく、申請します。

1 処分しようとする財産の明細

2 処分の方法（※）

※ 譲渡、交換、貸与、廃棄、担保提供等の別を記載すること、目的外使用の場合は、用途を記載すること。

3 処分の理由

神奈川県EV急速充電設備整備費補助金財産処分承認通知書

第 号  
年 月 日

様

神奈川県知事

（公 印 省 略）

年 月 日付けで申請のあった財産の処分については、次のとおり承認することとしたので、かながわスマートエネルギー計画推進事業費補助金交付要綱第17条第3項の規定により通知します。

1 処分する財産の明細

2 処分の方法

3 承認の条件

- (1) 処分が完了したときは、速やかに別紙の報告書、処分の完了を証する書類の写し及び売却金額が分かる書類の写しを提出すること。
- (2) 処分の完了後に別途通知する補助金に相当する額を納付すること。

注 承認の条件を満たさない場合には、承認を取り消す場合があります。

神奈川県EV急速充電設備整備費補助金財産処分不承認通知書

第 号  
年 月 日

様

神奈川県知事  
(公 印 省 略)

年 月 日付けで申請のあった財産の処分については、次の理由により承認しないこととしたので、かながわスマートエネルギー計画推進事業費補助金交付要綱第17条第3項の規定により通知します。

(承認しない理由)